

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

校長室だより No.23

“やさしく かしく たくましく”
～ 本気と礼節の教育 ～

令和4年4月28日 文責:安生昌弘

◆ 朝の昇降口での風景

4月7日から、朝、昇降口で子どもたちを迎えることにしました。冬の間、コロナ禍で授業中の教室へ行くことを控えてきたので、子どもたち全員とは会うことができませんでした。朝の昇降口前なら子どもたち全員と会えるし、戸外なので良いかなと考えたわけです。1ヶ月が過ぎようとしている現在、子どもたちのいろいろな様子が見えてきたり、あいさつに続けて話しかけてくれる子どもたちが何人か出てきました。



子どもたちのあいさつの仕方は子どもそれぞれです。わざわざ私の前にやって来て、「校長先生、おはようございます」とお辞儀をしながらあいさつをしてくれる子もいれば、小さな声で、やっとあいさつを返す子もいるし、私を避けるようにして「出来れば、あいさつしたくないんだよね」というオーラを放ちながら校舎に入っていく子もいます。私を避ける子は、大抵は何かあったのか、うつむいて歩いてくる子です。お互いの気持ちが爽やかになるような「あいさつ」が、出来るだけ多くの子に広がっていくと良いなあと願っています。

誰かに話したいことがある子は、あいさつに続けて私に話しかけてきます。「昨日、家のボイラーがエラー表示になっちゃいました。壊れないか心配です。」私「今、部品が不足しているそうだから心配だね。」、「今日は寝坊しちゃって、お母さんに叩き起こされました。」私「起こしてくれる人がいて良かったね。」などです。子どもたちは、基本的に「先生あのね…」という感じに話し好きなのだなあと再確認できています。



◆ 家庭訪問期間終了

今日の予備日を最後に、家庭訪問の期間が終了しました。船引小学校では、昨年度から全員対象ではなく、希望者を対象に家庭訪問を行っています。保護者の方も仕事があつて都合をつけるのも大変だろうと考えてのことです。

家庭訪問を終えた担任教員からは「保護者の方の協力的な言葉が嬉しかった」という報告を受けて、私まで嬉しくなりました。今後、担任教員から家庭訪問をして保護者の方と話したいということがあるかも知れません。その場合は随時、家庭訪問をさせて頂くこともありますので、何卒よろしくお願ひします。



学校と家庭がタッグを組み、一つ（ハイブリッド）になって2倍以上の力（パワー）で効果的に子どもたちを育てたいと願ひ、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。